



藤野地区町内会連合会

ルピナス230

十五島町内会

藤野本通町内会

第116号
令和5年6月15日(木)



令和五年度を迎えて

藤野地区町内会連合会

会長 吉田 健治

さる五月八日からコロナ感染症が五類感染症に変更されたことにより、三年以上に及ぶコロナ感染予防の呪縛から、ようやく解き放されたような気分を味わうことができ、世間の動きも少しずつコロナ以前の状態に戻りつつあることを実感できる日々を迎えることができました。

当連合会におきましても、五月十三日午後一時から、令和五年度定期総会が藤野地区センターで開催され、四年ぶりに懇親会も行うことができました。総会では活発な質疑をいただき、そのうえで、すべての議案を承認いただきました。あらためて感謝申し上げます。

今年度は、当連合会の役員改選にあたり、引き続き大役を仰せつかりました。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

新年度は、平年どおりの計画案・予算案でご承認いただきました。特

に、三年間お休みした「藤野ふるさとまつり」を、この夏は是非とも再開させたいとの思いで、協議を続けています。三年間のプランクと何よりも実行委員の高齢化が大きな課題となつていますが、各町内会が英知を合せて成功させたいと考えています。皆様のご理解とご協力を切にお願する次第です。

令和五年度も、地区内十九の町内会が一層連携を深め、協力し合い、「任んでよかつた藤野」を目指してゆく所存です。

また、六回目のコロナワクチンの接種が続けられており、治療費の自己負担が発生するなどの新たな一面も出てきています。どうか会員の皆様におかれましても、「マスク着用・こまめな手洗い・消毒」など感染予防に留意され、ご壮健で日々を過ごされますようお願いいたします。

藤野ふるさとまつり開催決定 8月5日(土)

令和五年度藤野地区町内会連合会の活動について

総務部長 八重崎 泰則

令和五年度の定期総会は新型コロナウイルス感染症法上の区分が八日より《2類相当》から《5類》に引き下げられることを考慮し開催を五月十三日(土)十三時より藤野地区センターアリーナで、各町内会の代議員、町連理事、役員が参加して開催されました。



藤野地区町内会連合会の定期総会

吉田健治町連会長の挨拶のあと、藤野第二町内会伊豆田常廣氏を議長に選出し審議に入りました。

町連活動の基本である「第二次まちづくりビジョン」(平成二十一年五月策定)に掲げる基本理念「* みんなで考え、みんなが参加する

*地域への誇りと愛着心*いきいきと暮らせる*活動を通じた連帯感」に基づき《花とみどり、と福祉のまち藤野》をまちづくりの指針とし各部の活動が計画されています。

昨年度も新型コロナウイルス感染が収まらず実施した事業は必要最小限度の状況となりました。

今年度も各部の連携した活動により「住んでよかった藤野」のまちづくりに全力を尽くしてまいります。

八月には令和元年以降、感染防止のため中止となっていた《第三十回藤野ふるさとまつり》を開催し地域の交流の輪を拡げることができればと願っています。



総会後の懇親会

令和五年度 事業計画

I 概要

前年度に引き続き「藤野地区まちづくりビジョン」に掲げる基本理念を根底にして、**花とみどり・文化と福祉のまち藤野**をまちづくり指針に掲げ、七項目の目標と課題に取り組み、組織一丸となって活動することにより「住んでよかった藤野」のまちづくりに邁進する。

II 各部門別個別活動計画

総務部

一、藤野地区まちづくりビジョンの具現化に向けた事業の推進と関係機関との調整を図る。

二、会報「ルピナス」の充実により藤野地域の情報発信に努め、

各単町間の情報交換を一層緊密にし、各町内会活動の活性化と充実に努める。

三、総会のほか必要に応じ四役会、理事会、役員会、専門部役員会等各種会議を開催する。

また、各町内会の連携を深め、町内会運営の効率化・レベルアップを図るため、各町内会長による情報交換・交流を深めることに努める。

四、藤野地区各単町の連携を深め、住民の一体感を一層高めるため、第三十回藤野ふるさとまつりを実施する。なお実施にあたっては、会場を十五島公園とし、開催時間・会場設営等についても各関係機関との連携により実施する。

五、藤野地区内の各単町並びに各種団体等との連携を深めるため、令和六年ふるさと藤野新年交礼会を企画し、開催する。

六、恵まれた自然に調和したまちづくりを一層推進するため、関係機関等との連携を深め、花いっぱい事業を押し進める。

七、藤野地域に根ざした伝統と文化を守るため、藤野音頭、藤野太鼓の普及に務めるほか、文化展を開催し、文化のまちとして向上を図る。

八、住民のさらなる高齢化、依然として止まらない少子化等に対応するため、各種行政機関や藤野地区社会福祉協議会等と連携し、社会福祉活動の充実強化を行い、福祉のまちとしての一層の向上を図りふじの子育てサポートフェスタを実施する。

九、安全安心のまちづくりを遂げるため各行政機関等との連携を深め、自主防災力の強化や研修会等によりスキルアップを図る。

十、専門部組織のあり方・活動内容等について検討を行なう。

十一、定山溪沿線町内会連絡協議会の一員として、沿線地域課題への積極対応を行なう。

①豊平川堤防道路の延長事業。

②シーニックバイウエイの一環とした地域づくり事業。

③定山溪沿線地域の公共交通（バス）運賃の不公平の是正について。

④「小金湯さくらの森」の運営に伴う各種支援。

十二、令和五年度定期総会決定の「特別積立金」について、適切に管理し運用する。

十三、各部の事業予算執行にあたっては経費の節約・効率化に努め充実感ある運営を目指す。

十四、藤野まちづくりセンターと共催して《藤野ゆきあかりの小路》を制作する。

会計部

一、町連会計業務全般、会計監査への対応。

広報部

一、会報「ルピナス230」（116〜118号）の発行。（7,500部）
二、ふるさとまつりチラシ作成。

福祉部

一、高齢者を励ます活動、敬老メッセージを作成贈呈する。

二、藤野子育てサロンフェスタの開催。

三、地区福祉活動交換会のサポート支援。

青少年部

一、青少年部長会議の開催。

二、ボッチャ体験会の開催。

三、フツズで遊ぶ。〈育成委員会主催・青少年部共催事業〉

四、新春書初め会・新春かるた大会の開催。（青少年部主催・育成委員会共催事業）

女性部

一、女性部役員会議・女性部会4回 講習・研修会。（各種出前講座の活用）
二、リーダー研修。（施設見学会）
三、がん検診の推進。

四、女性部新年交流会（第十六回 女性交流の集い）の開催。
五、交通安全母の会による交通安全全街頭啓発・新入学児童の啓発。

六、藤野・簾舞地区合同大型店舗にて交通安全啓発。
七、南区女性連絡協議会（九地区女性部）の一員として連携を深める。

（協議会会議・意見交換会・施設見学会への参加）

地域安全部

一、交通安全運動街頭啓発の実施。（年四回、R230まちづくりセンター周辺）
二、少年消防クラブBFC「ふじの」活動への補助。

三、関係会議（札幌地区防犯協会連合会、南防犯協会連合会、南区防火委員会、南区交通安全推進委員会、札幌市南地区暴力追放運動推進協議会、南警察署少年補導員連絡協議会、安全安心まちづくり道民会議）への参加。

体育部

一、少年少女ドッジボール大会の実施。
二、藤野地区パークゴルフ大会の実施。

三、雪中運動会の実施。
四、町連体育部長会議の開催。

文化部

一、文化展の開催。（九月上旬予定）
二、藤野の文化の普及と伝承。（藤野太鼓、藤野音頭、藤野賛歌）
三、藤野地区センター内「ふるさとコーナー」の展示物を通じ、地域の歴史と文化の伝承に役立てる。

環境部

一、環境部長会議の開催。
二、クリーンさつぽろ推進協議会の研修会・役員会等への参加。

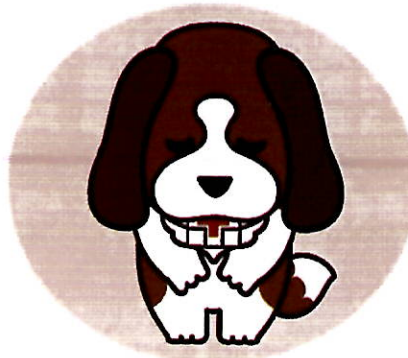
*役員会四回・研修会三回・表彰式等予定詳細は未定。

*ゴミゼロキャンペーンへ参加。
三、花いっぱい運動の推進。

*歩道美化事業、サポートプログラムとの連携・町内会等の植栽（関係機関から花株助成）

四、町連資材倉庫整備作業。
*周辺整備の草刈り・草刈り等の備品の購入・備品管理。

日本赤十字社の活動は、皆様からお寄せいただいた社資によって支えられています。今年度も引き続き皆様のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



日本赤十字社北海道支店
マスコットキャラクター「アンリー」

令和4年度 藤野地区町内会連合会一般会計決算書[期間 R4/04/01~R5/03/31]

収入の部

(単位：円)

科目	令和4年度予算額	令和4年度決算額	増減	摘要
繰越金	2,640,302	2,640,302	0	
町連会費	0	0	0	6.548世帯×250円(令和4年度のみ単町負担なし)
市等からの助成金	3,196,040	3,378,913	182,873	
地域振興 町連	744,800	744,800	0	算定基準による世帯割100円、均等割9万円(住民組織助成金)
地域振興 単町	1,289,240	1,289,240	0	6548世帯×130円+基準割額(住民組織助成金)
地域ふれあい事業等	1,102,000	1,294,873	192,873	南区地域ふれあい事業助成金・見守り強化事業、藤野ゆきあかりの小路
防災活動支援事業	60,000	50,000	△10,000	単町2町内会
募金交付金	110,000	125,773	15,773	日赤募金交付金、共同募金交付金
雑収入	680,000	299,928	△380,072	広告料11万円、日赤4万円、コピー等10万円
その他収入	680,000	680,000	0	社協使用料50万円、事務所借上補助18万円
合計	7,306,342	7,124,916	△181,426	

支出の部

科目	令和4年度予算額	令和4年度決算額	増減	摘要
諸経費	3,050,000	2,206,305	△843,695	
事務費	770,000	629,617	△140,383	事務用品(文具消耗品・コピー用紙・雑費)通信費印刷費、コピー機リース代14万円
交通費	100,000	100,000	0	各種行事参加交通費(副会長、総務部長、会計部長等)
総会・新年会費	430,000	35,580	△394,420	総会3.6万
会議費	350,000	109,604	△240,396	理事会、役員会、部長会、その他諸会議、会場費
慶弔費	50,000	26,500	△23,500	慶弔諸費用(1件)
渉外費	260,000	260,000	0	会長、副会長の各種行事参加活動費
団体負担金	280,000	270,824	△9,176	防火2万円、防犯3万円、沿線協議会13.1万円、南区成人式3万、他6万円
その他経費	810,000	774,180	△35,820	賃借料72.8万円損保2万円除排雪他3万
事業費	2,134,000	1,994,041	△139,959	
総務部費	50,000	23,080	△26,920	総務諸経費(会計監査等)
広報部費	520,000	525,000	5,000	ルピナス発行3回、484,000円印刷他編集・取材費等
体育部費	210,000	61,842	△148,158	スポーツ・レクリエーション活動(パークゴルフ大会)・郵送料
青少年部費	200,000	37,579	△162,421	書初め会かるた会3万・ポッチャ体験会
女性部費	180,000	179,960	△40	交通安全推進、交通安全母の会、部会・講習会・リーダー研修
福祉部費	250,000	91,610	△158,390	敬老メッセージ7.1万、事務費2万
地域安全部費	110,000	103,036	△6,964	地域安全街頭啓発5.3万、少年消防クラブ5万円
文化部費	100,000	4,240	△95,760	コピー代等
環境部費	64,000	47,212	△16,788	町連資材庫整備・部長会議(郵送料)
まつり事業費	450,000	920,482	470,482	藤野ゆきあかりの小路15万。見守り強化77万
地域振興 単町 助成金	1,289,240	1,289,240	0	住民組織助成金
募金交付金	110,000	125,773	15,773	日赤・共同募金活動交付金(単町への配分)
防災活動支援事業助成	60,000	50,000	△10,000	2単町内会
予備費	663,102		△663,102	
小計	7,306,342	5,665,359	△1,640,983	
	0	0	0	
繰越金(預金・現金)	0	1,459,557	1,459,557	
合計	7,306,342	7,124,916	△181,426	

令和5年度 藤野地区町内会連合会一般会計予算[期間 R5/04/01~R6/03/31]

収入の部

(単位：円)

科 目	令和4年度決算額	令和5年度予算額	増 減	摘 要
繰越金	2,640,302	1,459,557	△1,180,745	
町連会費	0	1,635,250	1,635,250	6.541世帯×250円
市等からの助成金	3,378,913	4,155,580	776,667	
地域振興 町連	744,800	874,920	130,120	算定基準による世帯割120円、均等割 9万円 (住民組織 助成金)
地域振興 単町	1,289,240	2,138,660	849,420	6.548世帯×260円+基準割額 (住民組織 助成金)
地域ふれあい事業等	1,294,873	1,102,000	△192,873	南区地域ふれあい事業助成金、藤野ゆきあかりの小路、ふるさと祭り
防災活動支援事業	50,000	40,000	△10,000	単町2町内会
募金交付金	125,773	110,000	△15,773	日赤募金交付金、共同募金交付金
雑収入	299,928	300,000	72	広告料16万円、日赤4万円、コピー等10万円
その他収入	680,000	680,000	0	社協使用料 50万円、事務所借上補助18万円
合 計	7,124,916	8,340,387	1,215,471	

支出の部

科 目	令和4年度決算額	令和5年度予算額	増 減	摘 要
諸経費	2,206,305	3,130,000	923,695	
事務費	629,617	850,000	220,383	事務用品(文具消耗品・コピー用紙・雑費)通信費 印刷費、コピー機リース代14万円
交通費	100,000	100,000	0	各種行事参加交通費(副会長、総務部長、会計部長等)
總會・新年会費	35,580	430,000	394,420	總會・懇親会11万、新年交流会29万、その他経費
会議費	109,604	350,000	240,396	理事会、役員会、部長会、その他諸会議、会場費
慶弔費	26,500	50,000	23,500	慶弔諸費用(2件)
渉外費	260,000	260,000	0	会長、副会長の各種行事参加活動費
団体負担金	270,824	280,000	9,176	防火2万円、防犯3万円、沿線協議会 13.4万円、南区成人式3万、他6.6万円
その他経費	774,180	810,000	35,820	賃借料 72.8万円損保 2万円除排雪他6.2万
事業費	1,994,041	2,208,000	213,959	
総務部費	23,080	50,000	26,920	総務諸経費
広報部費	525,000	638,000	113,000	ルピナス発行3回、484,000円・ふるさと祭チラシ・ポスター・印刷他編集・取材費等
体育部費	61,842	200,000	138,158	スポーツ・レクリエーション活動 (ドッチボール、雪中運動会、PG 等)
青少年部費	37,579	120,000	82,421	フッズで遊ぼう2万、ポッチャ体験会6万、書初め会かるた会3万円部会1万
女性部費	179,960	200,000	20,040	地区行事、交通安全推進、交通安全母の会、第16回女性交流会、リーダー研修等
福祉部費	91,610	250,000	158,390	敬老メッセージ7万、子育てサロン他18万
地域安全部費	103,036	140,000	36,964	地域安全街頭啓発6万、少年消防クラブ5万円、各種会議3万
文化部費	4,240	100,000	95,760	地域文化展、藤野文化の伝承 等 関連経費
環境部費	47,212	60,000	12,788	クリーンさっぽろ、花いっぱい運動 (歩道美化)、町連資材庫整備等
まつり事業費	920,482	450,000	△470,482	ふるさとまつり30万、藤野ゆきあかりの小路15万
地域振興 単町 助成金	1,289,240	2,138,660	849,420	住民組織助成金
募金交付金	125,773	110,000	△15,773	日赤・共同募金活動交付金(単町への配分)
防災活動支援事業助成	50,000	40,000	△10,000	
予備費		713,727	713,727	
小 計	5,665,359	8,340,387	2,675,028	
	0	0	0	
繰越金(預金・現金)	1,459,557	0	△1,459,557	
合 計	7,124,916	8,340,387	1,215,471	

藤野まちづくりセンター所長
就任のご挨拶



山口 裕美

藤野地区の皆さま、初めまして。今年の4月に着任いたしました山口です。

前職は豊平区の保健センターで保健師として母子に関する相談業務を行っていました。以前は南区でも高齢者の介護保険や介護予防の相談など健康や福祉に関する業務に長く携わってきました。

私は南区民でもあり、公園や買い物に度々訪れている藤野地区に親しみがあります。その地域の一番身近な窓口でまちづくりに関われることを大変嬉しく思っています。

着任してまだ間もないですが、第二次藤野まちづくりビジョンにある「花と緑、文化と福祉のまち」のため、皆さまが花いっぱい運動やふるさとまつり、雪あかりなど

熱心に活動され、尽力されていることに大変敬服しています。

今年はコロナ禍で中止となっていた行事も再開されるとのことです。それらの活動が継続できるよう、楽しみながら一緒にお手伝いできたらと思っています。

皆さまが、「住んでよかつた藤野」を感じ、いつまでもいきいきと暮らせるまちづくりのために、力を尽くしていきたいと思しますので、どうぞよろしくお願いいたします。

藤野地区民生・児童委員
2月例会開かれる

藤野地区民生・児童委員2月例会が令和五年二月二十四日（金）午後一時三十分から藤野地区センターAB室で開かれました。また今回の例会では、札幌市民児協の広報研修部会の視察も行われました。

視察に訪れたのは、札幌市内の七地区の民児協の会長と札幌市社会福祉協議会地域福祉課の大井戸麻衣事務局次長。それぞれの民児協の活動に役立てようと、熱心に会議でのやり取りに耳を傾けていました。

会議では、藤野地区民生・児童委員協議会の星野敦夫会長が、担当地区の概要と活動について説明。「藤野地区の人口は1万7700人

だが、そのうち六十五歳以上の人は6511人で高齢化率は36.78%で、札幌市内で最も高くなっている」と現状を説明。また、特殊詐欺を未然に防止しようと、令和二年から道警などとタッグを組み、独居老人宅に啓発活動を行っていることを説明しました。

この後、南区第2地域包括支援センター主任介護支援専門員の飯島紀子さんによる「なるほど実になる介護保険」と題した講演が行われました。この中で、飯島さんは十六種類の疾患で介護保険の対象となるので、ケアマネに相談することと話し、手続き、審査過程について詳しく説明しました。



「街を花で飾ろう」
花いっぱい運動が各町内会で



藤野通りの花【藤ヶ丘南町内会】

今年の苗は五月二十七日に配布が開始され、五月中に各町内会で花植え作業が行われました。

表紙の一面にも飾った景色は藤野本通町内会、富士見町内会、十五島町内会です。来年の表紙はまた違う町内会の景色を飾らせて頂こうと考えております。

歩道の脇に花壇が無い場所などは鉢植えで歩道を彩るなど工夫がされ、見るものを和ませてください。研究の話になりますが、何も無い道路よりも植木や花のある道路の方が車のスピードが落ちやすく、事故が少ないということが分かっています。忙しい今日、少し休憩がてらお花を眺めると気持ちも安らぎますね。

無事故めざし

街頭啓発



ドライバーらに安全運転を呼びかける街頭啓発が五月十二日（金）行われました。十一日から始まった全国交通安全運動に足並みを合わせて行われたもので、毎年、春夏、秋、冬に実施されています。藤野地区町内会連合会、藤野地区交通安全運動推進委員会、藤野地区交通安全母の会のメンバーが、藤野地区センター前の国道230号の両側の歩道に立ち、「スピードダウン」などと書かれた黄色い旗を掲げ、安全運転を呼びかけていました。



ふじの〜るに代わるデマンド運行

藤野地区デマンド運行概要について

- ① 実施期間：令和5年9月1日～令和7年8月31日（予定）※平日のみ運行（年末年始期間：12/29～1/3・お盆期間：8/13～8/15は運休）
- ② 利用可能時間：9:00～16:00
- ③ 利用方法：電話またはインターネットを利用した事前予約制
- ④ 運賃：350円（現金・交通系IC・※SAPICA対応）
6歳～12歳未満（小学生）150円、6歳未満（乳幼児）は無料
- ⑤ 運行車両：定員8名のワンボックス車両（乗車定員6名）1台
- ⑥ 乗降場所：既存停留所・ゴミステーション・電柱・町内施設など
- ⑦ 運行事業者：株式会社じょうてつ

地域説明会の開催について

藤野地区のデマンド交通にあたり、運行に関する詳細や利用方法など、運行事業者である株式会社じょうてつより、藤野地区の町内施設等を利用し、地域説明会を実施させていただきます。

- 実施日・実施会場
- ① 8月10日（木） 場所：藤野地区センター 15時～
- ② 8月17日（木） 場所：藤野第一会館 15時～
- ③ 8月18日（金） 場所：野々沢会館 10時～
- ④ 8月18日（金） 場所：藤野地区センター 15時～（予定）
- ※ 商業施設（東光ストア、他）での説明会も実施予定。

平成二十八年二月から現在も運行をしている藤野循環バス「ふじの〜る」ですが、昨年株式会社じょうてつとの協議を行った末、令和五年四月二十八日（金）に行われた札幌市公共交通協議会南区部会において、「ふじの〜る」に代わる代替手段として、令和五年九月からデマンド交通（※1）の実証実験運行を開始することが承認されました。

※1 デマンド交通とは・・・運行エリア内に複数の乗降場所を設定し、乗降場所から目的地までを結ぶ交通手段。利用するには事前予約（日時・乗降場所・人数等）が必要となる。

編集後記

「寸善尺魔」という言葉がある。最近では、とんと目にする機会がないが、世の中の良いことは少なく、悪いことのほうが多いというのが原義のようである。「オレオレ詐欺」が横行してやまない世相に当てはめれば、さだめしうまい話には気をつけろということか。お年寄りの情につけ込むばかりでなく、若者の心に巧みに忍び寄る「投資詐欺」というものも増えている。被害者には金銭的な痛手とともにいやしがたい心の傷も負わせる。なんとか魔物を退治するすべはないものか。（渡部）

有名人の自殺の報道が多い中、聞いたことをひとつ。うつ病の方は呼吸が浅いとのこと。深く深呼吸（腹式呼吸）をするだけで改善の効果があふようです。一日に一回でもいいのでゆっくり深呼吸をしてみてくださいか。（宮川）

ルピナス第一一六号

令和五年六月十五日発行

発行人 吉田 健治
編集人 渡部 徹
宮川ゆりあ
仙北 英治
日光広告(株)

印刷所 連絡先 〇一一五九三〇二二五